



イエスさまのきょうだい、しまい、おかあさんであること



フォコラーレ

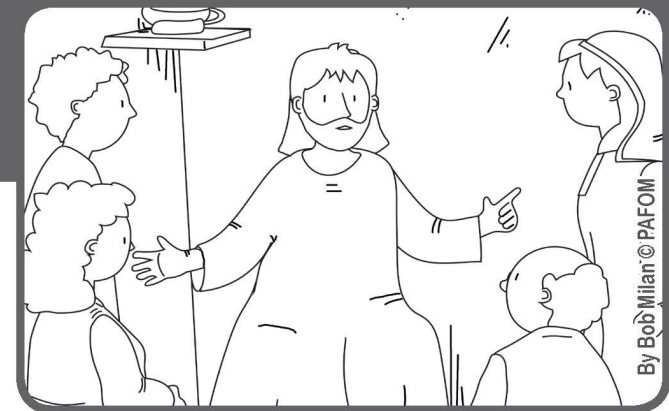
だれでも、わたしのてんのちちのみこころをおこなうひとが、わたしのきょうだい、しまい、またははである。(マタイ 12・50)



イエスさまのおかあさんと、しんせきはイエスさまとはなしがしたいのですががしています。



でしたちはイエスさまにいました。「いえのそとであなたのおかあさんときょうだいたちがまっています」



イエスは「だれでも、わたしのてんのちちのみこころをおこなうひとが、わたしのきょうだい、しまい、またははである。」といました。



パオラとノエミはおひめさまごっこをはじめました。パオラは「わたしがおひめさまになる!」といました。



ノエミもおひめさまがよかったのですが、パオラをあいするためにおうじさまになりました。



とてもたのしくあそび、バイバイするときパオラはノエミのあいのおこないに「ありがとう」といました。

イタリアのノエミのけいけん